

安心・安全
心続けたら
楽しみ続けよう
住み続けよう

知ら咲か



2019 MAY No.72

(編集発行)「知らせましょ・咲かせましょ」事務局・広報(住所)宝塚市逆瀬台 URL <http://www.shirasaka8.net/>
連絡先 「知ら咲か」ホームページの“問い合わせ”をご利用下さい。

令和時代の「知ら咲か」 皆様と一緒に歩みます

今日から元号が「令和」となりスタートします。「知ら咲か」は地域の皆様の脇役として「楽しいまちづくり」の脇役として歩んでいきます。

★みんなで地域を

「知ら咲か」は会則で次の三つの活動テーマを掲げています。

- ①「コミュニティ形成の環境として定期的に地域情報紙を発行する。」
- ②大型ゴミの廃棄手伝い
- ③防災、安全対策周知徹底活動

活動は白瀬川兩岸の集合住宅にお住まいの皆様を対象としています。高齢化が進む中でも「安心して住み続けられるまち」、そして若い世代やお子さまも「住みたいと思うまち」にしたいとの思いがあります。

活動テーマの①と③は情報紙「知ら咲か」の月1回の発行を通じて顔の見えるまちづくりへの寄与です。②のテーマは残念ながら資金と人手の不足、そして法的な規制のクリアという

課題があり今も解決策を模索中です。

いずれにしても、地域の皆様の力を合わせながら歩んでいかなければと考えています。

★地域の脇役として

活動テーマから自治会やブロック、コミュニティと変わらないとお思いの方もいらっしゃるでしょう。「住んでいくまちを少しでも住みやすく人のつながりを大切に育もう！」という「思い」で少しずつ力を集めているのが「知ら咲か」です。

★得意技を地域に自分に

「知ら咲か」は皆様のいろいろな力を集めて運営していきます。ぜひ、お力をお寄せ下さい。会費協力も歓迎です。よろしくお願い致します。

会員継続・新規入会を受け付けています 手続きは折込みの郵便振替払い込み用紙で

★皆様の支えが必要ですよ

「知ら咲か」の活動は、地域の有志の皆様の会費で運営しています。

情報紙の発行で、より皆様が地域に親しみを持って頂くことと、この地域での居場所を創って頂くこと、地域の様々な問題や課題について知

って頂いたり解決の方向性を見つけて頂く等々、記事作成を通じて目指しています。

★個人会費は3000円 折込みの用紙で郵便局で

個人会費は一口3000円です。郵便局のATMで払い込み頂けます。よろしくお願致します。

The image shows two forms used for membership fee collection. The left form is a '払込取扱票' (Payment Slip) with fields for amount (金額), member type (会員種別), address (住所), and name (氏名). The right form is a '振替払込請求書兼受領証' (Remittance Request Form and Receipt) with similar fields for amount, address, and name. Both forms include a '金額' (Amount) field with a circled '1' and a '住所氏名' (Address and Name) field with a circled '4'.

種別	会員条件	主体	会費(1口/年)
正会員	会の目的に賛同し 入会(議決権あり)	個人	3,000円/年
		団体	20,000円/年
賛助会員	会の事業を賛助する ために入会	個人	3,000円/年
		団体	20,000円/年



今年の開花が早いという予報で四月一日(月)十二時からの開催となりました。

マンション前の公園では八部咲き?の二本の桜の下に長テーブルと椅子を運んで設営が始まり、参加者の受け付けも始まりました。

時を同じくして新元号「令和」が発表されました。

記念すべき日の「お花見会」となり、良き思い出となります。

お花見には「花見弁当とお酒が」付き物ですが、お酒抜きでルマン



桜の下での話題は、多分新元号『令和』だったのでしよう!

昨年の花見は、自治会発足直後の行事でしたが、強風のため急遽集會室に変更されたと記憶しています。

今年は大丈夫と思っていたのですが、雲行きが悪くなってきました。

晴れたり曇ったり、ついには雨となってしまうました。



取敢えず昼食を済ませてから、集会所に駆け込むことになりました。テーブルと椅子を急いで運び込みました。ア－シンド！集会所では、仕切り直して、お茶とお菓子で談笑しながらラジカセのリードで「四季の歌」や「早春賦」など数曲の唱歌を合唱して楽しく過ごしました。合唱って良いものだなあ！と改めて感じました。今回も悪天候で残念な『お花見会』でしたが、新たな参加者もあり「お知り合いの輪」が広がり良き行事となりました。公園内の花壇造りも順調です。面積も徐々に広まり会員さんも増えていきます。

(記事：OT)



第 109 回 ふれあいサロン・アヴェルデ
「お花見の会」レポート

前日 4 月 1 日、「令和」という新元号が発表され、まさしく平成最後のお花見会となりました。前年の様子から日程を繰り上げたけれども、「春は名のみの風の寒さ」と前夜の雨で、ゆずり葉公園の桜は三分咲にもなっておりません。それでも古木の幹からは可愛い蕾が顔を見せていました。少人

数で出かけた公園で記念撮影。「早く満開になってね」と声をかけながら管理棟へと向かいました。今日の「お花見の会」、お花見からお食事会、歓談交流、茶話会、5 月の歌というプログラムです。お食事は宝塚阪急に発注したお弁当。いつもはとて小食な

方が「完食しましたよ！」とおっしゃるほど好評でした。嬉しいことです。美味しい食事。これは健康に不可欠ですが、単身世帯も増加傾向にある昨今です。



やはり気心の知れた方々と、またご近所で、月 1 回でも飲食を共にしたり会話を楽しんだりすることは、高級なレストランでの食事に勝るものがあるのでは。日頃の気になる事や困っている事、楽しかった事等々、いろんな会話が弾んでいました。記録写真の撮影をしていると、会話を楽しんでおられたり、友人を気遣っておられたりする表情にシャッターが吸い込まれていくように感じます。





いつも会場に優しい草花の姿をさりげなく飾ってくださる世話係の方。今日も上品で可憐なテーブルフラワーに心が和みました。



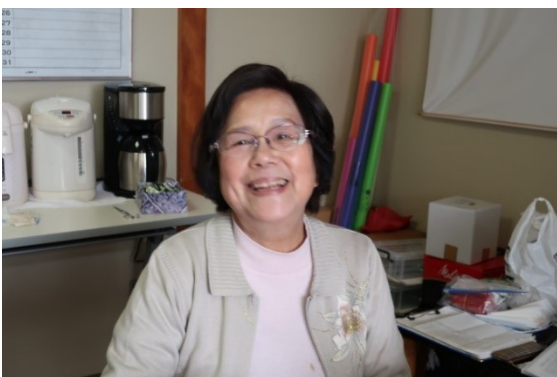
食事の後、5月の歌と一緒に歌いました。今日のプログラムは、①さくら②春の小川③春の唄④花⑤みかんの花咲く丘⑥青い山脈⑦北国の春⑧おぼろ月夜⑨にじの9曲です。
「私の知らない曲が2曲あります。「春の唄」と「にじ」です。どんな曲ですか？」
「そうですね、「春の唄」はこんなメロディーです。ちよっと弾いてみますね。」キーボードで伴奏しながら歌ってみました。「♪さくらの花の咲く頃は うららうららと日はうららうらら」
「あら聞いたことあるわ」「私は聞いたことない。教科書にも載ってなかったし。」



年代によって学校で習う歌も多少は違います。この曲は大正11年（1922年）、ソビエト社会主義共和国連邦が成立した年。相対性理論でアインシュタインがノーベル賞を受賞した年。オールバックの髪型や女性のアイシャドウが流行した年。小学館が創立。サンデー毎日が創刊。そんな社会情勢の頃です。春の光にかげろうが立ち昇るようすを「うららうらら」と表現しているようですが、自然が豊かだった日本の様子が歌詞にあふれています。そんな話をしますと、半分以上の方々が一緒に歌ってくださいました。



一方、春の歌としてよく知られていて今も教科書に載っている「春の小川」。この曲は明治45年（1912年）



2年）今大河ドラマ「いだてん」で放映されている第9回夏季オリンピック（ストックホルム）に日本人が初参加し、明治天皇崩御と大正天皇即位の年に作曲された歌です。「おお、そんなや」「みなさんが子どもの頃、近所に小川はありましたか？ 思い出の場所はどこですか？」
「花」では墨田川の桜並木を歌った歌詞より、東京に縁のある方からお話がありました。
「北国の春」では雪深い故郷の思い出話も聞かせていただきました。

（執筆N）

平成 19 年 3 月 31 日 逆瀬川マンション 防災さくらまつり



平成、最後のまつり、そして、5月1日より新年号「令和」が幕をあけます。「令和は、万葉集の梅花の歌より引用され、初春の令月（人々が美しく、心寄せ合う中で、文化が生まれ育つ）にして気淑く、風和らぎ、梅は鏡前の粉披き、蘭は風後の香を薫す。冬から春にかけて新しい一年が始まる。これからは和を保っていく、すべてのものを行うのに一番いい月であると説かれ、教えて頂きました。心が、さすがしくなりました。



まつりを通して楽しさを、周りの人達と分かち合える事を自覚していくと同時に「一人は人の為に、人は一人の為に」頑張れると思えました。まつりやサークルに参加する事で、いい経験をさせてくれます。住民が参加する事で顔見しりになり、どこで合っても笑顔で挨拶出来る、そんな仲間でありたいと願っています。

逆瀬川マンション 健康麻雀クラブ活動写真



「知ら咲か69号（平成31年2月1日号）7ページの記事「脳の活性化を」で紹介していただきました逆瀬川マンションの「健康麻雀クラブ」の活動写真が届きました。

「写真からも若々しさが溢れ出てくるようです。麻雀効果でしょうか？「かけない、吸わない」の会則はまさに健康そのものです。又、活動時間も13時から16時と無理のない時間であるのもいいのではないのでしょうか？」



囲碁、将棋と並んで麻雀も根強い人気が出ています。特に女性の間でも隠れた人気が出ているようです。皆さんも挑戦してみてくださいね。
この地域のマンションでは、まだまだ広く知られていない活動があること進んで紹介下さい。



阪急逆瀬台マンション 「シニアピンポンクラブ」の 生い立ちから近況まで

月会費 5000 円の徴収を平成 20 年 3 月から始めており、その時からクラブ活動がスタートしました。それに先立ち、当時コミュニティのカラオケ教室でお世話役だった伊藤さんからのご依頼で、卓球台を中山寺のスポーツデポへ買いに走った覚えがあります。あれから 11 年、変遷はありましたが、今でも総勢 14 名位のメンバーで活動を続けています。時にはコーチの指導を受けたこともありましたが、どちらかというとい

己流の温泉卓球を楽しむといったチームカラーでした。お世話役の内田さんを中心にオープンで優しい雰囲気があり、居心地の良いクラブとなっております。練習日にはティータイトを挟んで、後半はルールどおりのダブルスの試合をしています。極論すれば、これが実から練習に参加しているという風潮で、このことが実戦的なレベルの向上に繋がっています。逆小体育科館で行われる地区の親睦試合には、男子数名が参加するまで成長しています。メンバーの構成は、1、6 歳から 8 歳と高齢化が進んでいますが、年齢を感じさせない若さがこのクラブの魅力です。巷間話題の健康寿命にも大いに寄与していると思います。毎週月・木の午後 1 時～4 時、2F の集会室でプレーしています。「百聞は一見に如かず」興味ある方、ご覧になるだけでも結構です。どうぞいらしてください。

(文責 青葉台 T)

宝塚ゴルフ倶楽部の県道沿い ニセアカシアが伐採されました



宝塚ゴルフ倶楽部の県道 16 号線沿いアヴェルデ 4 番館前あたり 100m 幅くらいにあるニセアカシアが 3 月に伐採されました。昨年 6 月号では下のよう

なニセアカシアの写真を掲載しました。その記事ではニセアカシアの花粉で涙や咳が出る方のことを取り上げています。自然の緑は私達の心身をいやしてくれるのですが、花粉症に泣かされる方がいる



ことも、その時の取材で分かりました。人と自然の共生についてはまだまだ勉強することもあるようです。人昔前には花粉症については今ほど話に出ていなかったように思います。人のアレルギーが目立つようになったのでしょうか？それとも抵抗力がなくなってきたのでしょうか？いずれにしても、宝塚ゴルフ倶楽部の対応の早さには感心させられました。近隣住民を大切にする姿勢に頭が下がりま

白瀬の自然

「もみじのプロペラ」

新緑の季節です。

秋の色づいた「いろはもみじ」も綺麗ですが、この時期の緑の葉っぱは目にも鮮やかな新鮮さを感じさせてくれます。

葉っぱの新鮮な緑の中に何か鳥が羽を広げているような形のものがあります。

これをプロペラと呼んで飛ばして遊んでいた方もいるでしょう。

いろはもみじは若葉の頃に柄のある小さな花を下向きに付けます。

花は雄花と両性花が交じりますが、両性花の数はそれほど多くありません。

花卉は黄緑色で萼片よりも短く、やはり 5 枚あります。雄しべは 8 本です。 花のあとにつく実が翼花（翼のある実）です。

他の植物にも見られますが、種を代々残していくためにできるだけ遠くまでこのプロペラが有効になってきます。

ふわりと風に乗って遠くまで子孫を広げていくことができるのです。

動物も植物もそれぞれの種を保存する知恵を持っていることがいろいろなところで見ることができます。

少し詳しく見ることで何かに出会うことが出来るようです。何気なく見ている時でも「あれっ！」とおもうことがあるでしょう。それが見た物に対して興味がわいてくるきっかけになるかもしれませんね。

これからの季節。花や鳥、木や虫、色々な物を見ることが出来ます。楽しんでみましょう。



【編集後記】

5月1日、新元号のスタートです。皆さんは平成の時代をどう過ごしてきたでしょうか？又、令和の幕開けをどう感じているのでしょうか？

明治、大正、昭和、平成の各時代それぞれに人々の生活があり時代が創られてきました。これからの令和の時代を形づくるのは私達です。浴するの悪くするのも私達です。みんなで時代を創りましょう。

「知ら咲か」の活動も皆様の暖かいご支援で支えられています。皆様と同じように地域を良くしようとの思いを持っていきます。それも無理を市内程度の少しずつの活動です。一緒に何かをお手伝いいただける方を募集していきます。

又、今月は会員登録の更新をお願いしています。会員さんは会費で活動を支えていただくこととなります。又、正会員様には総会などの議決権の行使もお願いしています。費用のほとんどは地域の情報をお伝えする「知ら咲か」の印刷費用です。併せて取材編集や合本、ポスティングを担当していただくボランティアさんも歓迎致します。どうかお手伝い下さい。

今月の記事は花見の記事が多くなりました。いろいろな形で催しを行っていることを感じていただけましたでしょうか？

(S)